

ニュー スキン ジャパン 株式会社
フォース フォー グッド
「ニュー スキン ジャパン Force for Good 基金」
2013年度 活動報告書



ニュー スキン ジャパン 株式会社（本社所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：ライオン ナピアスキー）は、「ニュー スキン ジャパン フォース フォー グッド 基金※」（以下、FFG 基金）の 2013 年度における活動状況を報告いたします。

FFG 基金は、主に子どもたちの明るい未来につながる活動を支援することを目的に 2006 年 3 月に設立され、ディストリビューターと社員からの継続的な寄付により、支援先への安定したサポートや災害時の迅速な援助を行ってまいりました。2013 年度（2013 年 1 月～12 月）の FFG 基金へ寄せられた寄付金は 57,852,360 円となり、設立からの累計寄付金額は、5 億 3,422 万 6,104 円に上りました。

<2013 年度 ニュー スキン ジャパン Force for Good 基金 支援内訳>

健康支援	通年 セカンドハーベスト・ジャパン	18,000,000 円
教育支援	通年 気仙沼市大島の子どもたちへの奨学金	16,200,000 円
	通年 亡くなったディストリビューターの子どもたちへの奨学金	1,080,000 円
	2 月 福島県伊達市全小学校への図書支援	10,600,000 円
	6 月 Kits for Kids プロジェクト	6,917,400 円
	12 月 霧多布湿原ナショナルトラスト	1,000,000 円
	12 月 クリスマス ギフト プラン	1,622,712 円
経済支援	通年 マラウイ共和国	20,000,000 円
緊急災害支援	11 月 フィリピン台風	5,000,000 円
支援合計		80,420,112 円

2013 年は、支援を必要としている子どもたちへ笑顔を届けるため、児童養護施設や東日本大震災被災地、マラウイ共和国の子どもたちへ継続的な支援を実施しました。また、11 月 8 日に発生したフィリピン台風 30 号の被災地へも迅速に寄付をすることができました。

ニュー スキン ジャパンは、2014 年より FFG 基金の活動を新たなプロジェクト名「Children's Brighter Future チルドレンズ ブライター ～子どもたちの明るい未来を創る～」に統一し、より多くの子どもたちの笑顔をつくるための支援活動を強化・促進してまいります。主な支援先の詳細は、次頁のとおりです。

※Force for Good とは？ - ニュー スキンの社会貢献活動について -

Force for Good とは、ニュー スキンが「人々がより豊かになるための力となる」という企業理念に基づき行っている社会貢献活動です。世界中のディストリビューターと社員からの寄付や、エスニック製品※¹の開発にあたり、先住民から貴重な知識を授けてもらったことへの感謝から始まった「Force for Good キャンペーン」により、製品 1 個の売上につき 25 セントが寄付され、次の世代を担う子どもたちにとって、住みよい世界を作るための活動に取り組んでいます。

※¹ 世界各地の先住民族の間で伝えられてきた植物に関する知恵を、現代科学と融合させた製品群。

本件に関するお問い合わせ先
ニュー スキン ジャパン 株式会社 コーポレート PR/CSR
TEL : 03-5321-3600/FAX : 03-5323-2296/URL : www.nuskin.co.jp

－ 主なプロジェクトと支援先について －

■セカンドハーベスト・ジャパン



SECOND HARVEST
セカンドハーベスト ジャパン

日本初のフードバンク。食品製造メーカーや農家、個人などから、まだ十分に食べられるにもかかわらず、さまざまな理由で廃棄される食品を引き取り、それらを児童養護施設の子どもたちやDV被害のためのシェルター、さらに路上生活を強いられている人たちなどの元に届ける活動を行っています。

2013 年は毎月 150 万円の寄付により、120 ヲ所の児童養護施設 7,000 人の子どもたちに食糧を届けるための支援を実施しました。支援総額（2006 年からの累計）：2 億円

■霧多布湿原ナショナルトラスト



KIRITAP WETLAND NATIONAL TRUST

「美しい自然を未来の子どもたちに残したい」というミッションを掲げ、天然記念物であるタンチョウをはじめとする多くの動植物の保護や、美しい湿原をそのままの状態を守るために民有地を買い上げるなどの環境保全活動を行っている認定 NPO 団体です。

2013 年は、湿原の素晴らしい自然を保護するための民有地の買い上げに 100 万円を寄付しました。支援総額（2000 年からの累計）：4,720 万円

■マラウイ共和国（経済的支援）

アフリカのマラウイ共和国で、農業教育を通じ、農業を営む家族（人口の 90%を占める）の経済的自立を支援することにより、子どもたちに栄養のある食事と教育の機会を提供し、輝く未来を届ける活動を行っています。

2013 年は、農業開発普及員の指導の下 396 世帯がパイロット プログラムに参加し、栄養のある野菜を安定して栽培することに成功。

■フィリピン台風（緊急災害支援）

緊急支援として、2013 年 11 月 8 日に発生した台風の被災地に赤十字を通じて 500 万円を寄付しました。

■東日本大震災 被災地支援

東日本大震災直後より、被災地救済のためのさまざまな支援を継続的に行っています。

2013 年も、被災した子どもたちへの奨学金や、社員とディストリビューターが一緒になり、被災した子どもたちへのギフトを贈る参加型の支援などを継続的に実施しました。

支援総額（2011 年からの累計）：2 億円

東日本大震災に対する主な取り組み

2011 年	3 月	被災地支援のため義援金（合計 1 億円）の寄付。 会員および世界各国のニュー スキンから募った義援金を宮城・岩手・福島県の災害対策本部へ寄付。
	4 月	ニュー スキン エンタープライズ 創業者のブレイク M. ローニーをはじめ、本社のトップマネジメントが来日し、被災地を訪問。製品と救援物資を直接届ける。 Force for Good 東日本プロジェクトを開始。 ・「genLOC Force for Good プログラム」開始 1 製品につき 50 円を寄付（2012 年 3 月まで）。 ・宮城県亘理郡と石巻市の避難所へ製品を提供（ライフパック 2,000 個、シャンプー 2,000 本など）。 ・福島県南相馬市の保育園や小学校など被災地の子どもたち 4,000 名へ文具キットを寄贈。
2012 年	11 月	Nu Skin Children's Hope Project を開始 （Force for Good 東日本プロジェクトの一環として）。 ・宮城県、岩手県、福島県が設立した「子ども基金（震災遺児・孤児への支援）」へ総額 3,000 万円を寄付。 ・宮城県気仙沼市大島で被災した 45 人の子どもたちへの奨学金（1 人 月 3 万円を 3 年間支援）。 ・亡くなられたディストリビューターの子どもたちへの奨学金（1 人 月 3 万円を義務教育が終了するまで支援）。 ・岩手県「子どものこころのケアセンター」へ車両を寄贈。
	6 月	「Kits for Kids プロジェクト」にて、福島県伊達市の小学校や被災地の子どもたち文房具セットを寄贈。
2013 年	12 月	岩手・宮城・福島にある 17 の児童養護施設の子どもたち 700 名へクリスマス ギフトをプレゼント。
	2 月	「スマイル ライブラリー プラン」にて、福島県伊達市の全小学校に児童図書 5,907 冊、書架 45 基を寄贈。
	6 月	「Kits for Kids プロジェクト」にて、文具セットを寄贈。
	12 月	岩手・宮城・福島にある 17 の児童養護施設の子どもたち 700 名へクリスマス ギフトをプレゼント。